

社団法人 沖縄県理学療法士会

平成23年度 前期総会 議事録

1. 開催日時：平成23年6月18日（土）午後19：00～21：00

2. 開催場所：健康文化村 カルチャーリゾート フェストーネ
沖縄県宜野湾市真志喜3丁目28番1号

3. 正会員数1,059名

開会時 出席会員数64名 委任状提出者666名

閉会時 出席会員数80名 委任状提出者670名

4. 議案

第一号議案 議長、議事録署名人選の件

第二号議案 平成23年度活動報告ならびに各局事業報告に関する件

第三号議案 平成22年度収支決算に関する件

第四号議案 監査報告

第五号議案 平成23年度収支予算書（補正予算書）に関する件

第六号議案 定款及び細則の変更に関する件

報告事項

1. 平成23年度組織編制について

5. 総会次第

1) 開会の言葉 伊波成恭（事務局総務部）

2) 会長挨拶 池城正浩会長

3) 定足数報告 城間定治理事より定款第24条より会員数1,059名に対して参加者64名、委任状提出者666通と過半数を超え、定数が満たされた事による総会成立宣言がなされる。

4) 議事

第一号議案 議長、議事録署名人選の件

議長団選出 高良奈津子 渡慶次賀寿 両会員を選出

議事録署名人任命 西平伸也 砂川元 両会員を任命

第二号議案 平成23年度活動報告ならびに各局事業報告に関する件

池城正浩会長及び各局より議案書を基に説明がなされた。

会員より事業対策局・地域支援事業の障害者団体の活動支援と関わるボランティアスタッフの派遣について、このような団体は沢山あると思うが、どのような経緯で

今回の団体に対して行われたのかを知りたいと言う質問があった。これに対して玉城義彦理事より今回は新たな事業という事もあり、理学療法士会のメンバーとの話し合いの中で、難病リハビリテーションに関わる団体に対して何かできるのではないかと話になり、本年度は試験的に実施した。今回の団体に限らず他の団体にもこれから広げていきたいと考えている。しかし、22年度はスタッフを募集してもなかなか集まらなかったため派遣できる数に限りがあった。23年度は40名程派遣できるスタッフも増えているため、派遣した団体からの評価、派遣人数なども考慮し無理のない範囲で進めていきたいと考えている。これに対し会員から、他の団体から、理学療法士とつながりを持つためにはどうしたら良いのか分からないため、どのようにアクセスしたらこのような繋がりができるのか。という質問に対し、理学療法士会には問い合わせ書などのシステムもあるため、それを活用してほしいとの回答がなされた。

また他の会員より、このような活動を広げるにあたり、保険などはどうなっているのか。という質問がなされた。これに対し仲本哲理事より、現在の活動支援に関しては県内の障害者団体の方が主催するイベントのボランティアスタッフという扱いであるため、主催者側がボランティアスタッフに対しての保険をかけていることが多い。主催者側がイベント保険をかけていない場合はこちら側で会員に対するイベント保険をかけるようにしているとの回答がなされた。

会員より美ら島総体サポートプロジェクト後の選手や団体に対する理学療法士のサポートは現在どのような状況になっているのかという質問があった。これに対し仲西孝之理事より、美ら島総体以降のサポートプロジェクトは終了し、従来の高校野球を中心とした医療サポートを継続している。これまでの活動についてはアンケートを取って体育協会に継続を検討していただいている所との回答が得られた。また、小嶺衛副会長より体育協会が去年立ち上げたスポーツ医科学プログラムが今年度も継続しており、体育協会の予算で上位3競技が選出され、これに対し同じようなサポートをすることが決まっている。また、前年度施行した学校に対して自己負担で今年度も行うかの伺いを立てた所、4競技からお願いの声が上がっている。理学療法士会は離れることになるが、会員の方に引き続きサポートをお願いする形になっているとの回答がなされた。

議長より決議を求め賛成多数にて承認。

第三号議案 平成22年度収支決算に関する件

上原一志理事より議案書を基に説明がなされた。

議長より決議を求め賛成多数にて承認。

第四号議案 監査報告

監事より会費を回収できなかった人が5名いることと、公益法人への移行化について公益事業費と共益事業費を5対5にしなければならない事を配慮しながら進めてもらいたいとの報告がなされた。

会員より管理費支出の中の保険料とはどういう事かとの質問に対して、上原一志理事より理事保険になりますとの回答がなされた。

会員より退会された会費未納の会員についてはどのような扱いになるのかという質問に対して運天智子理事より協会の規則に準じ2年未納者に関しては自動的に退会となるため、前年度の会計処理では貸し倒れという事で雑費で処理しているとの回答がなされた。

会員より会費の納入について現金振り込み者とクレジットカードの人の割合を知り

たいとの質問に対し運天智子理事よりきちんと把握は出来ていないが、だいたい6割はクレジットカードだと思う。また、最近のクレジットカードは学生ローンなどに対する審査が厳しくカードを作れない人もいるため、このあたりも配慮し日本理学療法士協会は楽天カードに変更しているとの回答がなされた。

議長より決議を求め賛成多数にて承認。

第五号議案 平成23年度収支予算書（補正予算書）に関する件

運天智子理事より議案書を元に説明がなされた。

会員より理事の方は基本的に無報酬で活動しています。会長に関しては活動費が予算にあるが、多忙な財務局長にも活動費を予算として組み込んでみてはどうかという質問に対し、池城正浩会長より理事は無報酬でやっている。会長の活動費は県外での会議への参加などの活動の予備費として予算に組まれている。しかし、これはほとんど使う事はない。他の理事でも県外での同じような活動の場合は理事の承認により支給するようにしている。理事で費用を使ってしまうと、会員の皆様の活動費が減ってしまうため、理事に関しては感謝とご理解をいただきこれまで通りの協力を得るという回答がなされた。

議長より決議を求め賛成多数にて承認。

第六号議案 定款及び細則の変更に関する件

城間定治理事より、第8章第24条より会員数1,059名に対して参加者80名、委任状提出者670通と正会員総数の4分の3以上に満たないとの報告があった。これにより議決は行なえないため持ち越し議題となる。

会員より公益法人への移行説明会にはどれくらいの人数が参加しているのかという質問があった。これに対し池城正浩会長より参加人数はとても少ない状況であるとの回答がなされた。また、会員より離島からの委任状提出はどのくらいでているかとの質問に対し池城正浩会長より離島の方が積極的に参加されているとの回答がなされた。

5) 議長退団

6) 閉会の言葉 伊波成恭（事務局総務部）

報告事項

池城正浩会長より、組織図の再編を行っているため、会員の方の協力を今後も得ていきたいと報告がなされた。

城間定治理事より新人歓迎会を人数の拡大とブロックでの参加の要望があったため、各ブロックでの開催としているとの報告がなされた。

上記議事ならびにその結果を明確にする為、この議事録に議長、議事録署名人の署名捺印を下記に記す。

平成 23 年 6 月 日

社団法人沖縄県理学療法士会

議 長 高良 奈津子 印

議 長 渡慶次 賀寿 印

議事録署名人 西平 伸也 印

議事録署名人 砂川 元 印